

賑わいある美しい農山漁村づくり推進事業（新規）

【68（0）百万円】

対策のポイント

都市と農山漁村の共生・対流の国民的な運動の活発化並びに全国ベース及び各地域ベースの企業との連携の強化等により、自立的・持続的な活動の展開を促進し、運動の更なる展開として、実際の人々の動きにつながる実効的な運動を目指します。

（都市と農山漁村の共生・対流とは）

- ・ 都市と農山漁村の間で、「人、もの、情報」の行き来を活発にする取組です。
- ・ 骨太の方針2002において「都市と農山漁村を双方で行き交うライフスタイル（デュアルライフ）の実現に向け、共生・対流を推進する」と位置付けられ、関係副大臣による「都市と農山漁村の共生・対流に関するプロジェクトチーム」の下、関係省が一体となって推進しているものです。
- ・ 都市と農山漁村の共生・対流の取組みを国民的な運動として展開することを目的として、民間主導により組織された「オーライ！ニッポン会議」と連携し、共生・対流の取組みを積極的に推進しています。

政策目標

都市農村交流施設の年間宿泊者数を5年間で110万人拡大

770万人(16年度)

880万人(21年度)

<内容>

1. 国民運動を効率化するためのマネジメントの実施

オーライ！ニッポンの国民活動に賛同する各分野の有識者・民間企業・関係団体等から成る実行委員会の設置

企業との連携の強化等による自立的・持続的な活動の展開に向けた推進方針の検討

運動全体を効率化するためのマネジメントの実施

2. 実際の人々の行動につなげるオーライ！ニッポン商品の開発・提供の促進

旅行事業者、交通事業者等からなる商品開発研究会の設置

商品開発に向けたプラットフォーム機能（商品開発シーズ等の共有化）の形成

オーライ！ニッポン商品の実証調査の実施、調査結果の共有化

3. 実際の人々の行動につなげる効果的な情報発信

地方や民間の活力と意欲を活用した効果的なPRの検討

共生・対流副大臣プロジェクトチームでの連携施策に基づく子どもの受入地域情報等の整備・提供

民間表彰との連携によるオーライ！ニッポン表彰の国民各層への浸透強化、関連表彰の実施

<事業実施主体等>

1. 事業実施主体 民間団体

2. 補助率 定額

3. 事業実施期間 平成20年度～平成24年度

[担当課：農村振興局企画部農村政策課（03 - 3502 - 0030（直））]